



「丸坊主」も「ふさふさ」も
みんな同じけやきです!!

ゆり北

第253号 (23期 第7号)

光が丘ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

TEL 03-3977-0228

発行責任者 塩 原 継 雄

「ゆり北」をもっと

住みよいきれいな街に!!

今、循環型社会へ向けた様々な取り組みがされています。この背景には、ゴミの最終処分場の不足、環境破壊といった深刻な問題があります。ゴミの発生を抑制し、資源を有効に利用し、環境への負荷を少なくするために、一人一人の意識の向上が求められています。ゴミ減量のための大きな柱は3Rすなわち、リデュース（ゴミになるものを作らない、買わない）、リユース（使い終わったものを捨てないで再使用する）、リサイクル（ゴミにせず、資源として再利用する）です。日ごろの小さな心がけ、「ひと手間」が大切です。

ゴミ集積所でペットボトルの回収が始まります

現在ゴミは、燃やすもの、燃やさないものの二種類に分けて収集されています。一方資源は、自治会で古紙の集団回収を行っており、その報奨金は自治会活動の貴重な財源になっています。また板橋区による回収は、ビン・缶に加え十二月からペットボトルのモデル回収事業が始まります。これまでは「よしや」等の店頭回収を利用する方が多かったと思いますが、十一月末には各ゴミ集積所にペットボトル専用回収箱が設置されます。回収日はビン・缶と同じ火曜日です。詳しくは、別途配布するチラシをお読みください。

回収したペットボトルは『ゴミを取り除く↓細かく破碎しフレーク状

にする↓きれいに洗浄』といった工程を経て、約半分が繊維となり、作業着・ワイシャツ等の衣料品やカーペット等に再生するほか、ボールペン等の文房具や卵パック、果物等の仕切りトレーに再生します。また最近ではペットボトルを化学的に加工して再びボトルとする新しいリサイクルシステム「ボトルtoボトル」も開発されています。

ペットボトルのキャップの回収も始めます

ペットボトルのキャップは、ゆりの木夏まつりの会場で試行的に回収した結果、二日間で十七・五kg（約七千個）という実績を収めました。今回板橋区によるペットボトルの回収が始まるに当たり、ゆり北ではペットボトルのキャップの本格的集団自主回収を行うことになりました。キャップは、ゴミ集積所の専用回収箱に入れてください。ペットボトルのほか、調味料の容器等のキャップも同様に回収します。各号棟の玄関ホールに、回収対象となるものの実物を展示していますのでご覧ください。また、回収ボランティア（仮称PPキャップ・リサイクル・ボランティア）を募集しています。リサイクル活動に関心があり、お手伝いいただける方は自治会役員にご連絡ください。

ペットボトルのキャップのリサイクルはまだ広く知られていませ

んが、杉並区と船橋市が自治体として分別収集しています。回収したキャップは廃木屑と混合し、建築資材（木工ボード）に再生してコンクリートの「枠」として使われます。これは何回でも再生可能なりサイクル製品です。

年末大掃除は板橋年末クリーン作戦にあわせて十二月十一日(日)です

年末恒例の大掃除を、住宅管理組合と共同で別記のとおり行います。清掃作業員の日ごろの清掃のおかげで団地内のゴミはあまりありませんが、季節柄、落ち葉はかなりの量が考えられます。号棟周辺の清掃が終わりましたら、ゆりの木通り、けやき通りの清掃にもご協力ください。集めた落ち葉は赤塚新町公園内の腐葉土集積場に移送しますので、ゴミや小枝が混じらないよう注意してください。

終了後、五号棟管理事務所前で美

味しい「おしるこ」のサービスがあります。ご近所同士、交流の場としてご活用いただければ幸いです。

年末のゴミ出しはお早めに

声 新年のゴミの山

この住み心地よい団地に住んで二十年余り。でも、残念なことに新年の外出は溜息から始まります。それは、ゴミ置き場のゴミの山。我が家のゴミは、仲間入りさせたくないのに年末の収集が終わったあと年始の二度目の収集まで大袋に入れてベランダの日陰で待たせるのです。ゴミの扱い方は、住民みんなの顔ではないでしょうか。年始あいさつにえられるお客様をゴミの山でお迎えしたくありませんから……ね。

五号棟 T

この「声」は、一年前の「ゆり北」に掲載されたものです。年末年始はごみ収集がお休みになります。ゴミ集積所はゴミ捨て場ではありません。年末の最終収集日後のゴミはそれぞれの家庭で保管し、「我が家」と同様「我が街」もきれいに、気持ちよく新年を迎えられるようご協力をお願いいたします。

あなたもフルバンドのメンバーになりませんか？

毎年、ゆりの木夏まつりに出演している「サウンド・ブレイカーズ」が、バンドのメンバーを募集しています。練習場所は北千住経由東武線梅島駅の近くで、水曜日の夜と日曜日に練習をしています。パートは問

いません。あなたもサウンド・ブレイカーズの一員として来年の「ゆりの木夏まつり」を盛り上げませんか。お問い合わせは

四号棟 一〇〇二 林まで

雪かき用スコップ貸し出します
昨年の大雪日は大雪でした。自治会では、雪かき用スコップを防災倉庫（十一号棟玄関前）に二十本ほど用意しています。雪が降ったときは倉庫の鍵を開放してどなたでもお使いいただけるようにしますので、除雪にご協力ください。



自治会からのお知らせ

年末大掃除

日時 十二月十一日(日)
午前十時～十一時
集合場所

一〇九号棟居住者

五号棟管理事務所前

十〇十四号棟居住者

十一号棟防災倉庫前

清掃実施区域

ゆり北団地内全域

ゆりの木通り・けやき通り

その他

- 不要自転車回収は行いません
- 植え込み内の落ち葉は収集しません

- ゴミは十号棟北側の集積所に集めてください
- 十一時から五号棟管理事務所前でおしるこのサービスがあります

新町小・防災井戸の水質をチェックしました



2005ゆり北防災訓練

十月三十日、日曜日。赤塚新町小学校でゆり北防災訓練が行われました。午前十時からお昼ごろまで、一三三名の参加者がありました。また今回は、いつも自主的な「号棟内安否確認」と「集団避難」を実施して

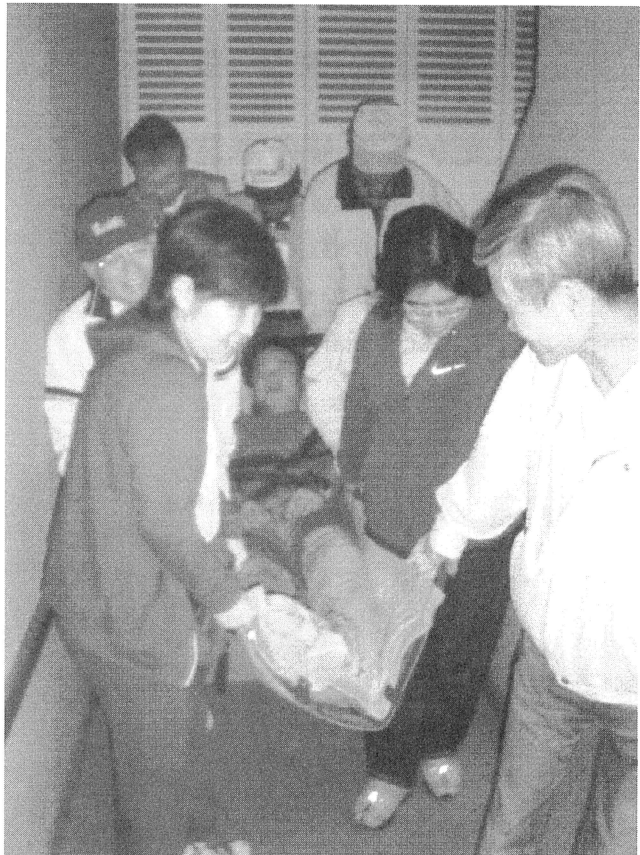
チェックを行いました。防災用深井戸は八年前に掘られ、幸か不幸か一度も使われていません。心配された水質ですがPH値は高い（アルカリ性が強い）ものの飲用可でした。

ただし電動で地下二百メートルから汲み上げる深井戸は、大震災で電気が止まれば使用出来ません。電源車が到着するまで「小学校の貯水槽（水道水一・七トン）で対処する」（区防災課危機管理室副室長坂田氏）ということでした。手押しポンプの浅井戸はそのままでは飲用不可です。

備蓄倉庫には食料・毛布・テント・仮設トイレなど避難生活用品、救急箱、担架や救出用具などがあり、その鍵は学校長が管理しています。また、校門の鍵は自治会塩原会長をはじめ学校防災会議の近隣協力員三名も預かっていて、学校関係者が駆け付ける前でも開けられることになっています。倉庫内の備蓄品は区が開設する避難所の管理であり、ふだ

校庭ではまず二班に別れて消火器による初期消火と、通報訓練を行いました。実際の火事で慌てない様に何度も体験しておきたい訓練です。

その後校内の災害用備蓄倉庫の見学、北門脇にある災害井戸の水質



「本当に重いけが人の救出」



繰り返しが大切初期消火訓練



んは自治会の一存で配布・使用はできません。ただし緊急の場合には、備蓄品についても近隣協力員が対応することが出来ることになっています。

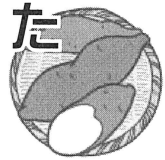
なお予定していた備蓄倉庫の発電機の試運転は「一度動かすと毎月動かさないと燃料関係の配管が劣化する（区防災課）ため取り止めとなりました。区では確認のため古い物から毎年二台、メーカーでテストしているそうです。

最後に恒例となった「充電器・サイレン・ラジオ付き手動LEDライト」など防災グッズが当たる抽選が行われ、解散になりました。

首都圏の大地震は遠からず起こる、といわれています。備蓄倉庫には紙おむつ・生理用品なども多少ありますが、それに頼らずにご家庭での備蓄を心がけてください。日々の安全対策とともに重要なことです。

防犯防災部

楽しかった おいしかった



いもほり大会

十月十五日（土）、青健（青少年健全育成）赤塚地区委員会）主催の子どもいもほり大会に参加しました。午前九時三十分、ろうそく広場に集合。自治会役員五名の引率で須田農園へ。十時開会。主催者、須田農園主などの挨拶の後、町会・自治会ごとに縄張りされた畑に突入し、一斉にいもほり開始。各家族が持ちきれないほどの収穫ができていたことを確認して終了。主催者側が用意した「ふかしいも」を頂戴して、現地解散しました。参加者は子ども十人、大人十二人でした。

（文化部 杉本）

小西和弥

十月十五日、おいもほりに行きました。ろうそく広場で待ち合わせしました。三年生の道免君がいました。すだ農園に着くと、たくさんの方がきていたのでびっくりしました。新町小学校の副校長先生も来ていました。ぼくは、道免君のとなりでおいもをほってみました。最初は、どこにあるかなーと少し心配しました。でも実際探してみると大きなおいもがとれました。大きなおいもをとるには深くほらないといけないので大変でした。それから次々とおいもがとれました。いろんな形のおいもがあつて面白かったです。おいもほりのあとふかしいものし食がありました。おいもをたくさんとったので帰りは荷物が重かったけれどもとても楽しかったです。また来年も行きたいです。

道免昌哉

十月十五日、自治会のおいもほりに行きました。お友達と一緒にしゃべりながら行ったのが楽しかったです。副校長先生もいらしていたのは、びっくりしました。ぼくは二十こ、お母さんは三こぐらいほりました。おいもは、大きいのが小さいのがありました。お友達のお母さんに「こつちの方もほって」と、言われました。ぼくは、もぐらみたいになりました。一生けん命ほりました。その後、ふかしのおいもをみんなで食べました。おいもは、ホクホクしていておいしかったです。帰りに、雨がふってきました。ぼくは、「おいもはだいじょうぶかな」と心配しました。

天ぷらや鉄板焼きをしておいもを食べました。とてもおいしかったです。また、おいもほりに行きたいです。

ゆりの木ノースレンジャーズ

区民大会で第3位入賞

赤塚新町小学校を活動拠点としている軟式野球チームの『ノースレンジャーズ』が平成十七年度区民大会学童の部で三位に入賞しました。

今回の区民大会に向けてノースレンジャーズは六年生だけのチーム構成で出場。

九月十一日の初戦から十一月六日までの五回戦を苦戦しながら何とか勝ち進み、十一月二十日の準決勝の対戦相手は、板橋区内で常に上位に入っている『赤塚アントラーズ』でした。

さすがに上位の常連チームとなると攻守共に堅実で、残念ながら決勝



「やったぞ！」ノースレンジャーズ

派な成績だと思えます。

表彰式では賞状と銅メダルをもらって、みんな大喜び。二ヶ月半の大会がこれで幕を閉じました。

区民大会が終わり、あとは成増地区のリーグ戦を残すのみとなりました。九月十六日から始まった、こちらの大会でも健闘しています。

成増地区の試合が終わると六年生の公式戦は全て終わりになり、来年は今の五年生と六年生を中心にチームを編成し、新たな目標に向かって練習に励むことになります。

ゆり北の近くで練習している選手を見かけたら、応援してあげて下さい。